

平成25年度授業シラバスの詳細内容

| | | | |
|---------------|---------------------------------------|-------|---------|
| 科目名(英) | ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) | 授業コード | E002602 |
| 担当教員名 | 山本 義史 | | |
| 配当学年 | 3 | 開講期 | 前期 |
| 必修・選択区分 | 必修 | 単位数 | 4 |
| 履修上の注意または履修条件 | なし | | |
| 受講心得 | 真剣にかつ精力的に研究に取り組んでください。 | | |
| 教科書 | 「あなたのこころを科学する」(古城和敬他著、北大路書房) | | |
| 参考文献及び指定図書 | 授業中、適宜指示する。 | | |
| 関連科目 | コミュニケーション演習、社会心理学、臨床心理学、発達心理学、カウンセリング | | |

| | |
|-------|--|
| 授業の目的 | 動物や人間は遺伝的にもって生まれた性質とともに、経験によって学習し適応していきます。そのような動物や人間のありようを探るのも心理学の役割です。それに一步でも近づいてみましょう。動物や人間は自然の一部であり、生きていく以上自然から離れることはできません。そうしたことを踏まえ、地球から優しくしてもらえる心理学を学びます。心理学には、様々な分野があります。例えば、知覚心理学、生理心理学、学習心理学、認知心理学、社会心理学、集団心理学、教育心理学、発達心理学、臨床心理学、健康心理学、環境心理学などです。このような心理学の一端を積極的に身近なものとしていくのが本ゼミナールの目的です。 |
| 授業の概要 | 読書・発表・討議中心の授業です。 |

| ○授業計画 | |
|--|-------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第2週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第3週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第4週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第5週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第6週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第7週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第8週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |
| 第9週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | 配布資料 |

| | | |
|---|-----------------|---------|
| 第10週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | | 配布資料 |
| 第11週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | | 配布資料 |
| 第12週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | | 配布資料 |
| 第13週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | | 配布資料 |
| 第14週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | | 配布資料 |
| 第15週：発表・討議 テーマを設定し、各自で調べてきて発表します。 | | 配布資料 |
| 第16週：期末試験なし | | |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2) 複数担当の場合の方式 | |
| | (3) アクティブ・ラーニング | |
| 備考 | なし | |

| | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | 心理学の様々な分野に関心をもち、研究の準備を進めます。 |
| 【知識・理解】 | 心理学の知識を蓄積します。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ゼミの他の学生に対して自己表現やコミュニケーションができるようになります。 |
| 【思考・判断・創造】 | 研究を卒業論文として完成させます。 |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|---------------------|-------------------|------------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等 (テスト) | レポート・作品等 (提出物) | 発表・その他 (無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 50点 | | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。 | | 30点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | 20点 | | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | | | |
| (「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。 | | | | |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|-----------------|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等 (提出物) | |
| 発表・その他 (無形成果) | |